

著書紹介

著者自らが新刊を紹介します。



古歌そぞろ歩き

創造表現学部・教授・島田 修三

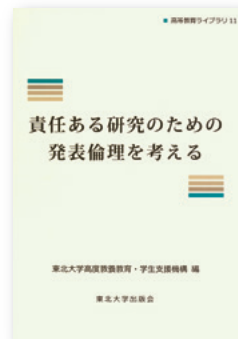
- ▶ 四六判 ▶ 253ページ ▶ 本阿弥書店
- ▶ 本体2800円+税 ▶ 2017年2月10日発行
- ▶ 短歌総合誌「歌壇」における4年間にわたる連載を部分的に改稿し、一冊として刊行したもの。『古事記』『日本書紀』収録の古代歌謡から江戸時代末期の和歌まで、1200年にわたる古典和歌史から200首の歌を選び、評釈・鑑賞を加えている。



パパが遺した物語 名作映画完全セリフ集 スクリーンプレイ・シリーズ 177

文学部・教授・樗木 勇作／心理学部・教授・西出 隆紀(共著)

- ▶ B6判 ▶ 152ページ ▶ フォーイン スクリーンプレイ事業部
- ▶ 本体1,600円+税 ▶ 2016年9月1日発行
- ▶ ラッセル・クロウ演ずる作家の父が交通事故の後遺症で悩みながら娘を懸命に育てるニューヨークを舞台にした映画の英語および日本語訳で編集した完全セリフ集。セリフの翻訳・注釈と「この映画の英語について」のコラムで英語学による分析を樗木が担当し、西出は臨床心理士の視点からのコラムを担当した。



責任ある研究のための 発表倫理を考える

人間情報学部・教授・山崎 茂明(共著)

- ▶ A5判 ▶ 163ページ ▶ 東北大学出版会
- ▶ 本体2,000円+税 ▶ 2017年3月24日発行
- ▶ 本書は、研究倫理のなかでも、発表倫理に着目している。発表倫理とは、オーサーシップの問題など、成果の発表に関する倫理である。研究活動は発表をもって完結するものであり、研究の着想とデザインから、実験や調査、データの分析と解釈、論文執筆といった活動全体を検討できる視点である。